

第4回中核病院協議会 議事概要

【日 時】 令和3年10月26日（火）19：00～19：40

【場 所】 萩市総合福祉センター 多目的ホール

【出席者】 出席者名簿のとおり

【協議事項】

萩医療圏における医療機能再編等について

- ・事務局から、報告書案の説明を行った。

（主な意見・質問等）

- 中核病院が必要だというのが大多数の意見とあるが、賛成の意見の中にも、財政面や医師の確保等への不安が含まれている。皆が諸手を挙げて賛成だと受け取られないように、そのあたりが読み取れるような文章を入れてほしい。
- 中核病院ができて、医師がたくさん来ることはまずないだろう。今いる医師たちで萩の医療を守るには、市民病院と都志見病院が統合してマンパワーを集約させることが必要。萩地域に大きな病院は必要ないという意見は正論であり、中核病院というよりも2病院を統合した病院をつくり、集約化しながら、二次救急等の問題に対応するという方が正しいと思う。
- 中核病院が必要という大多数の意見がまとまり、安堵している。3年後には医師の働き方改革で、勤務医の時間外労働の制限が始まる。財政の問題もあるが、効率化を図るためにも、できる限り早い時期に2病院の集約を目指す必要がある。
- 中核病院があれば、病気になった時に、まずそこに行って、適切な治療が受けられるという安心感を市民は持っている。中核病院が早くできて、市民が安心して暮らせるようにしてほしい。
- 前回の経営シミュレーションでは安心できない。病院が大きくなったからといって、患者は増えないと思うので、機能強化して黒字になるという考えは甘いのではないか。財政の問題は、市議会できちんと議論してほしい。

- 全体的な意見として、二次救急が大変で中核病院が必要という話は出たが、2病院の統合というのが最終的な結論かという疑問に思う。2病院統合するかどうかは、市議会で議案が上程されてから、議員の皆さんにしっかり数字の面で判断してもらいたい。

- 委員から様々な意見や不安が出たが、安心して医療が受けられるまちづくりをしてほしいという皆の気持ちは変わらないと思う。財政面については、今後、議会等で議論が深められると思うが、行政や議会の方には、皆が不安に思うところを受け止めてもらい、更に細かいシミュレーションが出た時に、これでよいのかしっかり議論してほしい。そして、議論をオープンにして、分かりやすく市民に説明してほしい。

- この協議会では、多くの時間を費やし、市民代表の委員から多くの貴重な意見をいただいた。協議会としての議論を、行政、市議会で受け止めていただき、今後、ゼロベースに戻ることがないよう進めてもらいたい。

- (議長) 今回の様々な意見は、補足意見として、報告書に追加して市長に提出したい。文面については、会長、事務局に一任してほしい。

以上